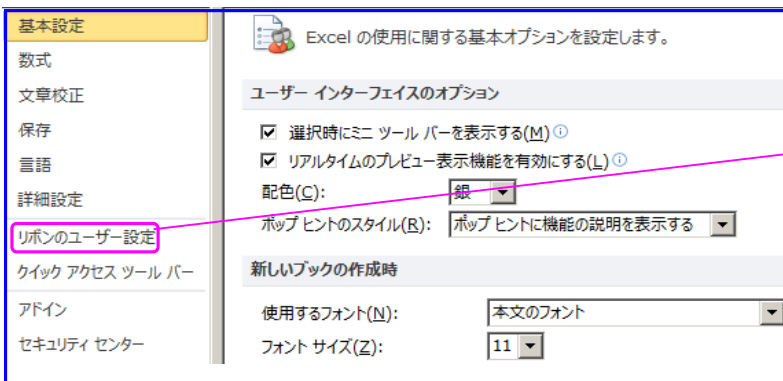


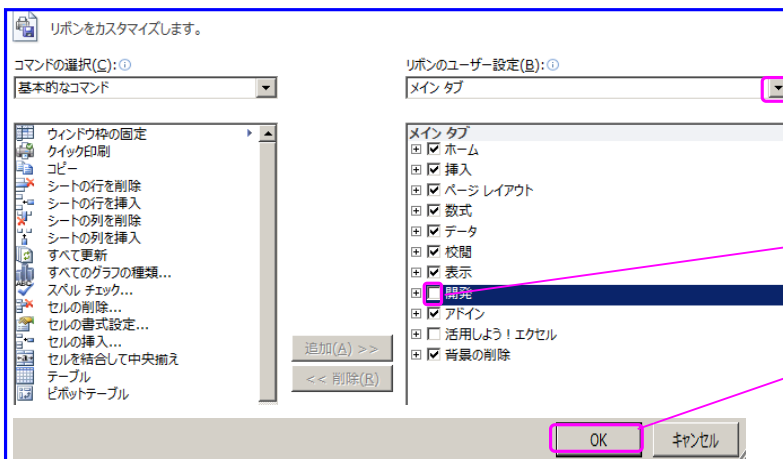
(1) 上部リボンバー左端の[ファイル]をクリック



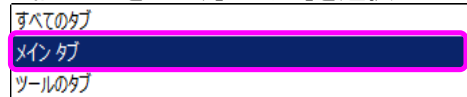
(2) [オプション]をクリック



(3) [リボンのユーザー設定]をクリック

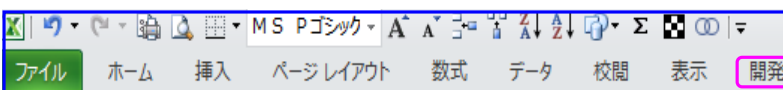


(4) [リボンのユーザー設定]の右端の▼をクリックして、下記メニューを出し、[メインタブ]を選択



(5) [メインタブ]のメニューから[開発]タブの口に✓を入れる

(6) [OK]をクリック

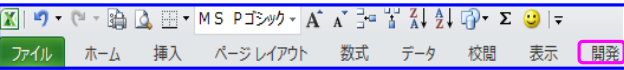


(7) [開発]リボンが設定される

# Excel-マクロ(VBA)の記述方法

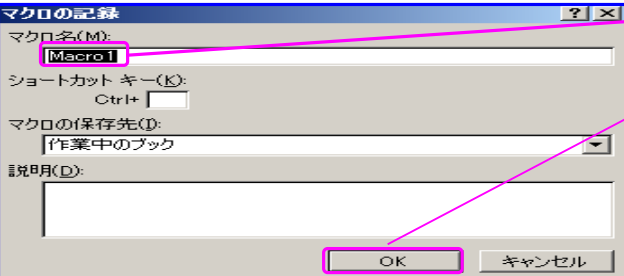
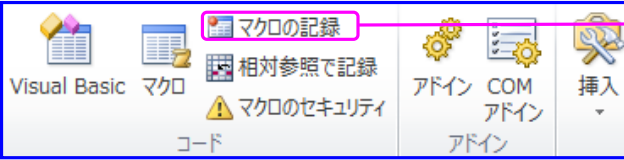
2014-04-16作成

## 1. マクロ(VBA)の自動自動記述方法



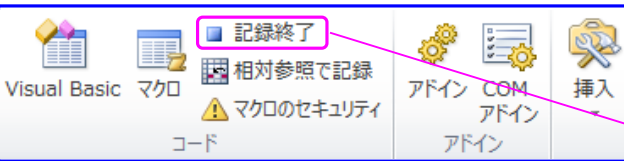
<マクロの自動記録開始>

- (1) 上部リボンバーの「開発」をクリック
- (2) 「マクロの記録」をクリック



- (3) マクロの名を記入
- (4) 「OK」をクリック

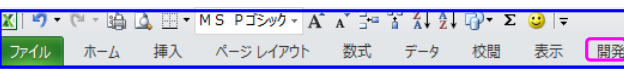
Excelの操作を実施



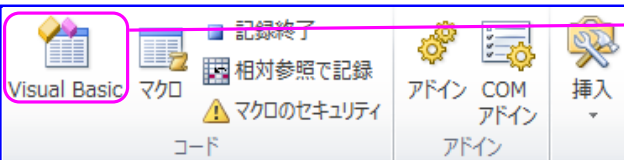
<マクロの自動記録終了>

- (5) 上部リボンバーの「開発」をクリック
- (6) 「記録終了」をクリック

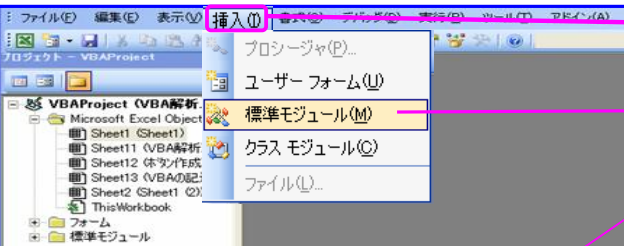
## 2. マクロ(VBA)の直接記述方法



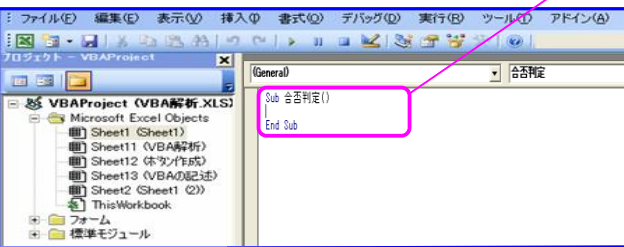
- (1) 上部リボンバーの「開発」をクリック



- (2) 「Visual Basic」をクリック



- (3) 上部メニューバーの「挿入」をクリック
- (4) 「標準モジュール」をクリック



- (5) 「SUB マクロ名」と記入して「Enter」を押すと、下記の通り、「()」と「END SUB」が付加され、1行記入スペースができる。

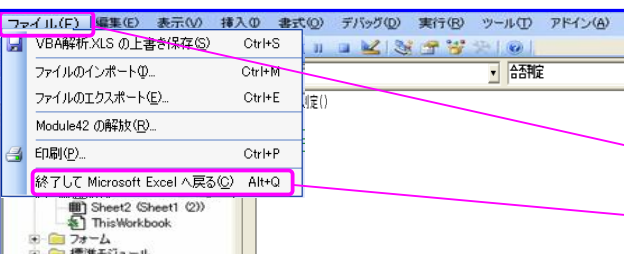
SUB マクロ名()  
マクロ記入スペース

- (6) 上記記入スペースに1行ずつマクロ文を記入して「Enter」

- ① ステートメントを改行して、記入する場合は、半角スペースと「\_」を記入して「Enter」  
Worksheets("Sheet3").Range("A2:C2").Interior.ColorIndex = 4
- ② 1行に2つのステートメントを記入する場合は、[:]でステートメントの間を区切って、記入

- ③ 「'」を記入すると、「'」以降を注釈とすることができる。

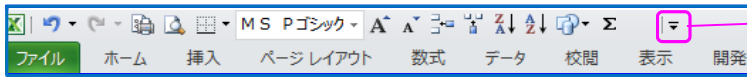
- (7) マクロ(VBA)の登録



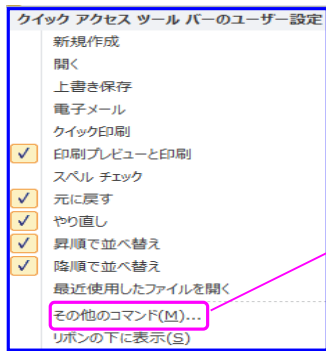
- ① 「ファイル」をクリック
- ② 「終了して Microsoft Excel へ戻る」をクリック

# クイックアクセスツールバーへのマクロ登録

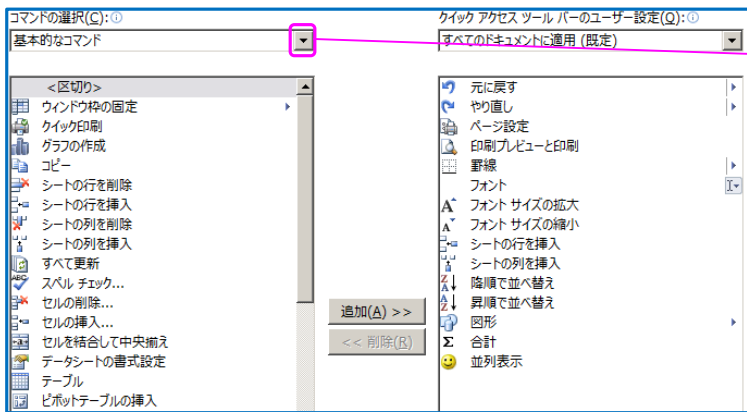
2014-04-16作成



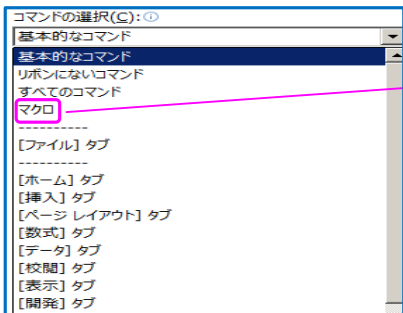
(1)最上部のクイックアクセスツールバーの右端の[▼]をクリック



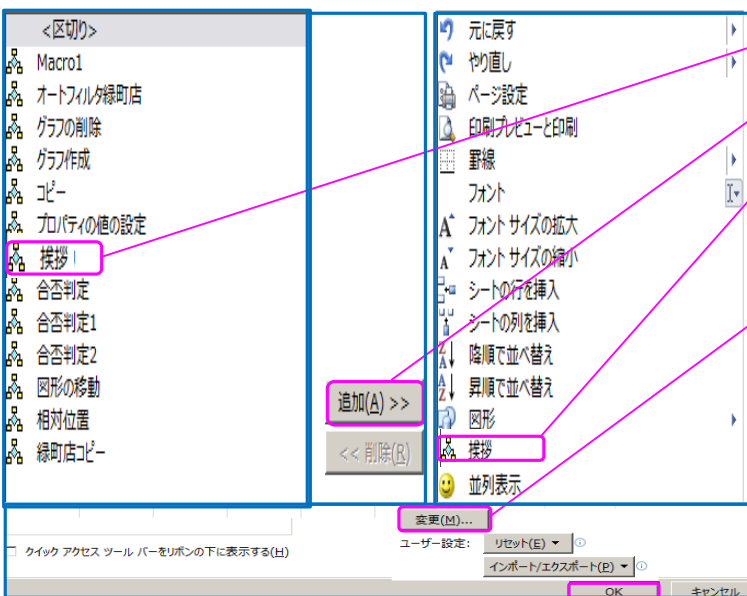
(2)開いたサブメニューバーの[その他のコマンド]をクリック



(3)[基本的なコマンド]の右端の[▼]をクリック



(4)[マクロ]をクリック



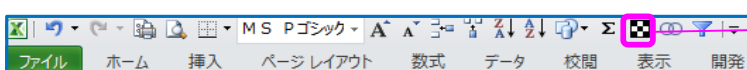
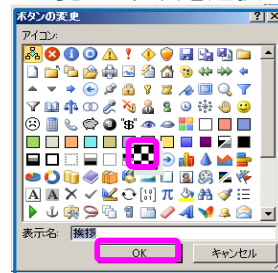
(5)左側の一覧より登録したいマクロを選択

(6)[追加]ボタンをクリック

(7)右側の選択済み一覧に移動

(8)画面最下段の[OK]ボタンをクリック

(9)絵柄を変えたいときは、[変更]ボタンをクリックして、一覧より絵柄を選択して、「OK」をクリック

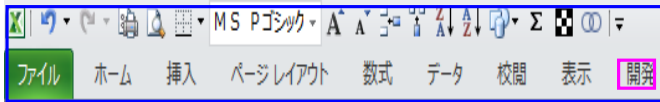


(10)クイックアクセスツールバーにマクロの絵柄が登録される

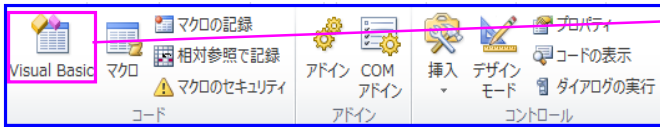
# 1. マクロ(VBA)の直接記述の演習

2014-04-16作成

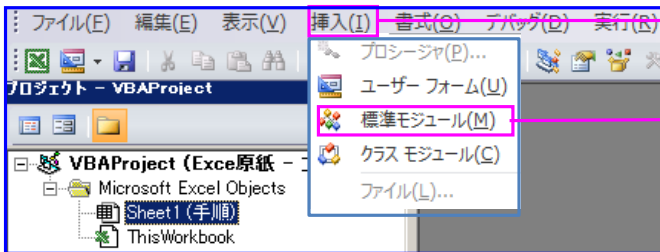
Excel操作を始めるにあたって、「おはよう」というメッセージを



(1)上部リボンメニューバーの[開発]をクリック

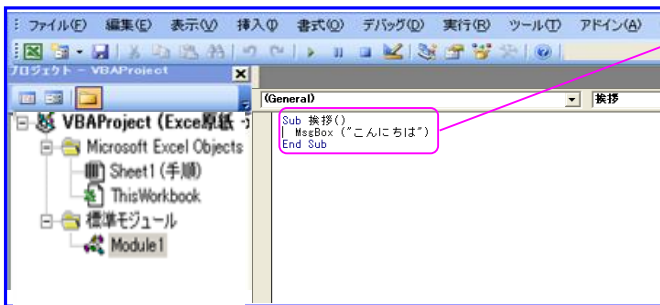


(2)[Visual Basic]をクリック



(3)上部メニューバーの[挿入I]をクリック

(4)現れた挿入メニューの[標準モジュール]をクリック

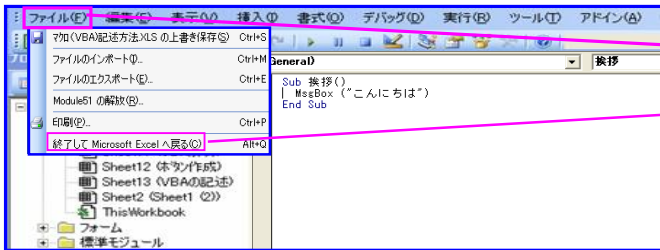


(5)「SUB 挨拶」と記入して、**Enter** を押と、下記の通り、  
”)と”END SUB”が付加され、1行記入スペースができる

```
SUB 挨拶()  
マクロ文記入スペース  
END SUB
```

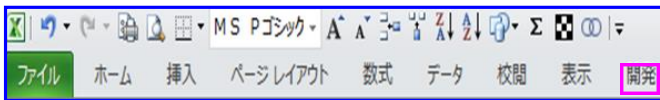
(6)上記記入スペースに次のマクロ文を記入し、**Enter**

```
MsgBox("おはよう")
```

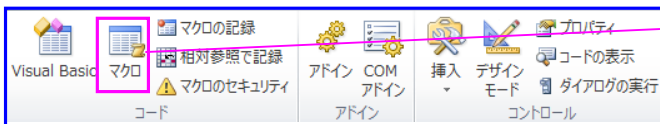


(7)[ファイル]をクリック

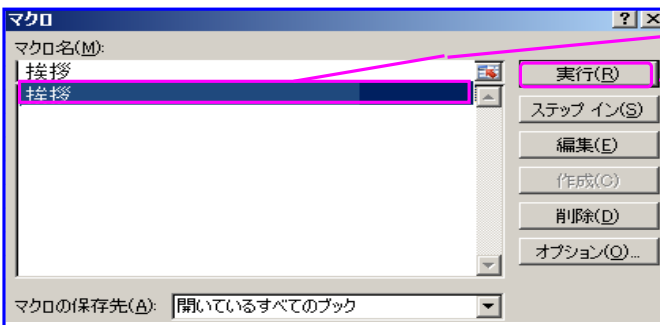
(8)[終了してMicrosoft Excelへ戻る]をクリック



(9)上部リボンメニューバーの[開発]をクリック

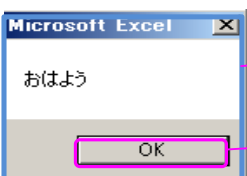


(10)[マクロ]をクリック



(11)マクロの一覧より、[挨拶]を選択

(12)[実行]をクリック



(13)マクロが実行されて、先のようなメッセージボックスが表示される

(14)[OK]をクリック

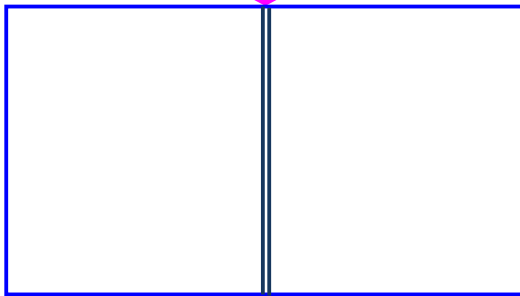
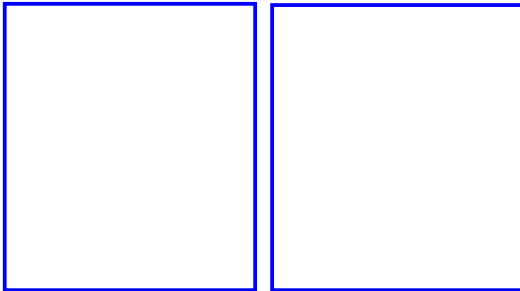
## 利用中のマクロの紹介

2014-04-16

下記は、現在利用しているマクロです。

### WindowsArrange

開いているエクセルシートが複数あっても、1画面に同時に表示できます。



### With Application

```
.DisplayStatusBar = Not .DisplayStatusBar  
End With
```

エクセルシートの際下段のステータスバーを消去することができます。

